

第4学年

学年日より

チャレンジ4

高岡市立成美小学校

令和6年6月3日

木々の緑の色がだんだんと濃くなり、教室の窓から差し込む日差しも強くなってきました。先日の運動会で、子供たちは、これまでの練習の成果を存分に発揮し、互いの健闘を称え合うことを目当てに、運動会を楽しむことができました。全力で走り切った子供たちの表情は満足したものでした。中学年の「成美っ子ハリケーン」では、3年生と協力して、速く走るには、どうしたらよいか、必死に考えている4年生が、頼もしく見えました。また、団席では、1年生から3年生に優しく声をかけたり、リーダーシップをとって大声で応援したりする姿も見られました。運動会を通して、子供たちの心の成長が感じられて、嬉しく思いました。たくさんのご声援をいただき、ありがとうございました。



【4年生が中心で話合う姿】

◇豊かな表現を目指して、図工を楽しんでいます◇

図工の時間は、わくわくするような楽しい教材と出会い、それぞれが自分なりの正解を見つけ出す活動を目指しています。そのために、子どもたちが「やってみたい!」と思える環境づくりをするのが、大切だと考えています。そのために、材料を用意したり、場の流れを察知して、全体への声かけや個への寄り添いをしたりしています。「自分がやりたくてやっている状態」をつくり出し、子供たち自身で「自分にとっての答え」を追い求めるようにしています。子供たちが考えた作品のよさや行動を逃さず、褒めたいと考えています。



また、どの教科の学習においても、それまでの経験が大きく関わってきます。図工も例外ではありません。例えば、色を自由に塗るという課題があったとします。この時、絵の具を使う場で、筆しか使ったことがなければ、筆を使って、好きな色を好きなタッチで色を塗ろうとします。しかし、歯ブラシや刷毛、スポンジやローラーを使って色を塗った経験があれば、自由に色を塗るという課題に対して、用具の選択肢が加わります。その事によって、表現の幅が広がると同時に、どれが最適か、どれとどれを組み合わせるのがおもしろいのかなど、いろいろなことを

考えるようになります。このように、図工では、自分が表現したいことを考える上で、経験がとても重要になってきます。そのために、小学校ではいろいろな事を経験させています。図工の学習では、その経験がとても役に立つはずで

「自由な発想の場」と「それまでの経験」があって、文部科学省が目指している、豊かな表現ができる子供が育つと考えています。



◇親子活動について◇

6月15日(土)午前9時から、親子活動を開催します。今年度は、高新自動車学校で、自転車教室を行います。詳細については、先日配布されたお知らせをご覧ください。なお、参加できないお子さんについては、休み時間等にDVDを視聴し、自転車の乗り方を確認する予定です。

